

奈良市公民館運営審議会会議録

平成28年7月7日会議

平成28年度第1回奈良市公民館運営審議会会議録

開催日時	平成28年7月7日(木) 午前10時00分から午前11時30分まで	
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第21会議室	
議 題	1 新役員選出 2 平成27年度公民館事業実施状況及び利用状況について 3 平成28年度公民館事業計画について 4 平成27年度公民館大会についての報告 6 平成28年度公民館大会について 5 公民館利用者アンケート 7 その他	
出席者	委 員	鮎川委員、井内委員、榎本委員、大場委員、川村委員、権藤委員、 田中委員、伏浦委員、八木委員、吉田委員、若林委員 【計11人出席】 (粕井委員は欠席)
	事務局	教育長、教育総務部長、教育総務部次長、生涯学習課長、生涯学 習課課長補佐、生涯学習財団事務局長、生涯学習財団事務局次長
開催形態	公開(傍聴人0人)	
決定事項	—	
担 当 課	教育総務部 生涯学習課	

議事の内容

○委員の紹介等

出席者を紹介した後、会議への出欠状況を確認し、奈良市公民館条例施行規則第4条第2項に基づき、会議が成立することを報告

○教育委員会の挨拶

教育長から挨拶

○新役員選出【案件1】

八木委員が会長に選出され挨拶。

奈良市公民館条例施行規則第3条第2項の規定により会長が議長に指名される。

大場委員、権藤委員が副会長に選出され挨拶。

○会議録の署名について

議事に入る前に議長から今回の署名委員の指名及び確認(鮎川委員と井内委員)

【案件2】平成27年度公民館事業実施状況及び利用状況について

財団事務局長

平成 27 年度の公民館利用状況は、生涯学習センターを含む24館で、総利用件数 41,080 件、総利用人数 582,131 人でした。昨年に比べ、件数で 1,165 件の減少、人数で 24,670 人の減少となりました。利用件数、利用人数が減っている大きな理由としては、中部公民館の空調設備工事に伴い、1 月から 3 月の期間、閉館したこと、またそれに伴い毎年 2 日間にわたり開催しておりました「生涯学習フェスタ」を開催しなかった事があります。高齢化等の理由によるグループの構成人数の減少も要因の一つと考えられます。

平成 27 年度、公民館事業では、重点分野を「高齢者」「男女」「青少年」「家庭教育」「現代的課題」の5つとして、24館合計で、事業件数 489 件、開催回数 2,113 回の事業を実施し、延べ 67,468 名の方に受講をいただきました。ここには出ていませんが、26 年度と比較しますと、実施回数では 183 回の減少、受講者数は、延べ 10,988 名の減少となりました。

大型館では、集客数の多さ、駅からのアクセスの良さ等を活かしての事業展開を図り、分野別の「01 教養・文化・国際交流に関する事業」で、生涯学習センター実施の「古典文学講座」、中部公民館実施の、春日大社の式年造替への関心を深めることを意識した実行委員会との共催事業「一話完結！西山厚が読む春日権現験記」、西部公民館実施の、奈良大学との共催事業「せいぶ市民カレッジ～東アジアの中の日本～」等の講座が人気で、たくさんの方々に参加いただきました。

また、地区公民館では、地域の特色、素材、課題に対応し、工夫をこらした事業展開に取り組みました。各公民館で、それぞれの地域の課題や現代的な課題解決にむけた事業に積極的に取り組むこととし、奈良市全域で展開いたしました。

「平成 27 年度 特色ある事業(重点分野別)」として

1. 高齢者分野

①老春塾出張講座 ワナのしくみと仕掛け方(田原公民館)

田原地区において年々増加している鳥獣による被害。農業を営む上で深刻な状況となっています。被害状況や出没する動物の種類に対応するワナのしくみと仕掛け方を映像で学びながら対策方法を考える目的で開催しました。

②とみがおかお弁当会(登美ヶ丘公民館)

地域内の高齢化率が高い登美ヶ丘地区は、独居老人が多く住んでいます。日々孤食で寂しい思いをされている老人の方々が各自持ち寄ったお弁当を食べながら会話を楽しんでもいただくのを目的に開催しました。地域包括支援センター保健師の方にも参加していただき介護予防や福祉に関する情報を得られる場として役立てていただきました。

2. 男女分野

①自分探し講座～これが私の生きる道～(中部公民館)

結婚や出産、子育てによって生活環境が変わってしまった女性の方々に自分自身を見つめ直し、知らなかった自分の一面に気づいていただき、次の一步を踏み出していただくために開催しました。

② メンズクッキングクラブ (平城東公民館)

働く女性の増加によって家庭において男性の家事参加率が増加している今、そういった男性の手助けとなる講座が必要ということで開催。奈良市食生活改善推進員協議会の方を講師に招く中、料理初心者の皆さんが集まって楽しい時間を過ごしていただきました。

3. 青少年分野

①あゆつかみに挑戦！(柳生公民館)

奈良市街の親子に柳生の自然の豊かさや魅力を知ってもらう機会を提供するとともに、柳生の子どもたちと交流してもらうことを目的に開催しました。柳生に流れる打滝川でのあゆつかみ体験は毎回好評で多くの方に参加していただきました。

②わくわく！チョウさがし隊～秋・冬編～(平城西公民館)

テレビゲームに夢中で外であまり遊ばない現代の子どもたちに自然の中で草花や昆虫とのふれあいの場を持つてもらう目的で開催しました。野原を駆け回ったり、珍しい昆虫と出会えたりする中、自然との共存の大切さや難しさを学んでもらいました。

4. 家庭教育分野

①おじいちゃんおばあちゃんとクッキング(西部公民館)

近年、社会的に孫育てが注目されている中、おじいちゃん、おばあちゃんがお孫さんと一緒にクッキングすることで、いつもと違うお孫さんの様子、おじいちゃん、おばあちゃんの凄いところをお孫さんに見ていただき、普段とは違ったふれあいで参加者の皆さんに喜んでいただきました。

②失敗しない親子のルールづくり～スマホやゲームをわたすなら～(富雄公民館)

子どものスマートフォンやインターネット機能付きゲームの安全利用を考える事を目的として地域の小学校と共催して開催しました。参加者からは「まずは親子共に規範意識を高めて、しっかり家族で話し合いたい」などの声がありました。

5. 現代的課題分野

①防災講座～小さい子どもをつれての避難～(京西公民館)

地域で積極的に防災事業を展開している六条校区自主防災防犯会と連携し、京西地域に住む乳幼児と保護者を対象に実施しました。子どもといっしょに防災への意識を高めていただくとともに、地域の防災取組の紹介や公民館に避難所の役割があること等参加者に知っていただきました。

②Let's 脳トレ in みあと(都跡公民館)

認知症の予防を目的に毎日できる簡単な運動や心がけを知っていただき、生き活きとした暮らしを手に入れていただくために開催しました。地域の仲間とともに参加できるこの事業は大変好評でした。

生涯学習支援活動事業として、別途、市の委託を受けて実施しているものについて報告をいたします。

1つ目は「奈良ひとまち大学」です。「奈良ひとまち大学」は、奈良に暮らす20代～30代の若い人が、世界に誇る奈良の魅力を再発見する学びの場を創るという目的のもと、奈良市を丸ごと大学のキャンパスに見立て、奈良で魅力的な人に出会い、奈良の町の歴史・文化・自然・モノに出会い学ぶという考えで、今までになかった新しい学びの場を提供しています。平成22年9月に開校して以来、財団職員でプロジェクトチームを結成し、職員の専門性、ネットワークを活用して、毎月第4土日を中心に事業計画しました。27年度は38事業を実施、今までの総授業は、215回の実施となりました。日頃、公民館になじみの少ない20代～30代の世代をターゲットにし、市内の色々な場所を活用し、公民館ではできない一味違った授業を実施しました。27年度も回を重ねるごとに人気が増し、知名度と評価も上がってきており、毎回定員を大きく上回る申込みをいただいています。27年度の参加者数は、延べ1,546人で、開校以来の参加者数は、延べ6,142人となりました。9月には開校5周年の特別授業を開講し、学園祭という事で753人の参加がありました。

次に「奈良市子育てスポット事業」についてです。この事業は、子ども育成課から委託を受け、27年度も引き続き11の公民館で、毎月2回実施しました。概ね0～3歳児とその保護者を対象に、子育て中の親同士の交流、悩みの共有、専門的なアドバイス等を行い、また、子育てから離れ自由な時間を持ってもらおうという目的をもった事業です。27年度は、延べ6,577人の参加があり、26年度の7,127人から比較しますと、550人の減少となっておりますが、その実施主旨である、子育て中の親同士の情報交換や、子育てストレスの緩和などに、満足度も高く、また、今必要とする事業と捉え、引き続きこれをきっかけにして保護者の公民館利用に繋がりたいと考えております。

他に、市農林課からの委託事業として、東部の5つの公民館で農作業などの体験を通して田舎暮らしを知ってもらい、人生の生きがいの発見や、農業への魅力を感じてもらい「アクティブシニア農業体験事業」や、昨年度から引き続き、若草公民館と月ヶ瀬公民館において奈良県公民館連絡協議会の「地域課題の解決を目指すモデル公民館事業」を展開しました。これらの取り組みを通して、市民の学習意欲と多様なニーズに対応し、市民の立場に立った施設運営を行い、地域における「学びの場」「地域づくりの拠点」としての機能を強化し、市民の学習活動を促進するとともに、地域の学校や各種団体・関係機関との連携を図りながら、地域の課題解決に向けての支援に努めることが出来たと考えています。

【案件3】平成28年度公民館事業計画について

財団事務局長

平成 28 年度も学習機会の場の提供、さらには地域の皆さんの自主学習の支援、また、地域の活動の拠点として、地域の課題に対応し、各団体との連携を図って事業展開をしていきます。28 年度の事業予定件数は 382 件、回数は 1,602 回、募集定員は 8,469 人の計画をしております。加えて定員を設けない自由入場の講座もありますので、更に多くの皆さんに参加いただけたと考えております。

講座内容については、今までの実施状況を踏まえて、それぞれ内容に工夫を加え、「高齢者」「男女」「青少年」「家庭教育」そして「現代的課題」という5つの重点項目に沿って、新規事業を取り入れ、新しい視点からの、地域のニーズにあった、地域課題の解決に向けた事業を、今年度も各公民館で積極的に展開しているところです。講座の内容につきましては、後程ご覧いただきたく思います。

平成 28 年度の自主グループの登録件数は 1,725 団体であり、継続しての活発な活動を期待しているところです。

次に、奈良ひとまち大学は、今年度も奈良の魅力的な人とまちを紹介しながら、多くの方に奈良の魅力を発信し続けたいと考えております。奈良市をまるごと大学のキャンパスにみたく、5つのシリーズ「文化財」「奈良を元気にする人」「社寺」「伝統産業」「奈良の食」、全37回を予定しています。これらの授業を受けることにより、その素晴らしさ、おもしろさ、そして魅力を感じ、私たちが暮らす「奈良」の凄さを感じてもらい、奈良への愛着を深めてもらうとともに、キャンパスを通しての出会い、ふれあい、学びの場として、奈良市全域の地域の活性化を目指して実施いたします。

平成 28 年度の子育てスポット事業は、昨年同様、11館で実施いたします。各館で毎月2回、計24回の事業を実施し、子育て親子の交流・相談の場の提供や、子育て情報の交換の場を提供します。

他に、東部地区5館で実施の「アクティブシニア農業体験事業」、前年度より規模縮小となりますが、中部・北部・南部の5館でモデル事業として実施の、「家庭教育支援事業」等、地域の特性、ニーズに対応した事業展開を進めます。

以上の事業を通しまして、今年度も奈良市およびそれぞれの地域の、教育力の向上と活性化に努めてまいります。

【案件4】平成27年度公民館大会についての報告

・第37回全国公民館研究集会

平成27年10月15日(木)～16日(金)

大会に参加された委員が欠席のため、事務局から報告

事務局

第37回全国公民館研究集会は、平成27年10月15日から16日の2日間、鳥取県鳥取市の、とりぎん文化会館で行われ、全体のテーマは「未来を拓く公民館力」でした。1日目は、鳥取に縁の深い漫画家 竹宮恵子氏の記念講演と「これからの公民館の在り方」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。内容の詳細については、参加報告書に書かれておりますので、ご覧ください。

2日目は、“今求められる公民館「時代に即応する公民館の創造」”というテーマで実施された第1分科会にご参加いただきました。全体の感想や意見は、参加報告書の裏面でご覧いただいておりますとおりです。その中にもありますように、「公民館の研修率が全国で60%、奈良県は最低の1%」という報告があり、奈良市の財団職員の研修体制がどのようになっているかを事務局に尋ねられましたので、別紙の参考資料のとおり研修状況を簡単にまとめさせていただきました。

この資料は、今年3月にすべての報告書を送付する際に添付し、皆さまにも送付させていただいたところですが、今回、粕井委員から会議の欠席と大会報告の依頼を受けた際に、「奈良県の研修率が1%ということで驚きましたが、奈良市の財団職員が専門性を高める研修を続けていることがよくわかり、安心しましたので、審議会でその旨を伝えてほしい」ということでしたのでお伝えしておきます。以上です。

・第63回近畿公民館大会 <京都大会>

平成27年11月19日(木)～20日(金)

委員

近畿公民館大会に出席しました。今年は、例年と違い、初日に分科会があり、第2日目は場所も変わって全大会がありました。

分科会は、第1分科会の二名公民館館長の発表に参加しました。私は二名公民館と同じ校区に住んでいますので、ぜひ、この分科会に参加したいと思いました。また、普段は分館を利用していることもあり、二名公民館のことはほとんど何も知らない状態だったことも、第1分科会を希望した理由です。発表の内容は、妊娠したことが判明したばかりの夫婦には、母親になる女性に妊娠したこと・出産するまでの生活をどのように過ごしていけばいいのか、父親になる男性には、世帯を持って生活していくということなど、地域の「家族」をどのように支援できるかということを中心に話されていました。

他府県の出席者達から、「どうやれば、そこまで、地域住民に寄り添えるのか」と質問をされ、館長は、長年、地域の人達と共に活動してきたことを話されていました。フロアーにカーペットを敷き詰め、活動時以外でも自由遊べるようにしたことや、公民館の前に中学校があるのですが、かつてフロアーで遊んでいた子供たちが中学生になり、再び公民館に立ち寄るようになり、中学生の「居場所」になっているそうです。

昨年の(公民会)大会は若草公民館の発表を聴いたのですが、若草公民館は60才をすぎた方々が誘い合い「おしゃべりサロン」を行っている、という内容でした。二名でも若草と同様の活動をしたいと社会福祉協議会に申し出ましたが、二名地域は、若草公民館地区とは違った形で社会福祉協議会が活動しているので、寄付金という形で協力してほしいと言われました。私は寄附でなく活動で地域に貢献をしたいと思っているので、そのことを公民館の館長に話したところ、「そういう考えをお持ちの方が他にもいらっしゃる、その方々と勉強をしながら活動しようと思っています。」ということだったので、2度ほど活動に参加させてもらいました。昨年、今回と公民館大会に参加して、公民館活動の大切さを改めて感じています。

次の日の全体会は「瓢亭玉子」で有名な京都の老舗料亭のひとつ瓢亭の主人による基調講演でした。京都は「都」があった場所なので昔ながらの伝統を引き継いで営業されているそうです。

今の若い世代の人はどの料理も白いお皿に盛り付することがかっこいいと思っているけれど、西洋料理(フランス料理)は「ソース」で食べることを前提にして作られており、「ソース」の色を引き立たせるためにお皿は白い方が好まれます。一方、日本料理は食器が(季節を感じさせたりして)食べ物を美味しく見せる要素となっています。和菓子も抹茶の味を美味しく感じさせるために、上品な甘さに仕上げています。杉箸(先が両方とも細い箸)もお水に一度つけて、箸にご飯つぶがつかないように配慮して提供しているそうです。食べる前にお茶や汁椀に箸先だけひたして、ごはんを食べるという行為はお行儀の悪いことなので、瓢亭では、していただきたくないと考えているため、お箸を水に浸して提供しているそうです。ひとつの思いがあって、この考え方を貫いてこられたのだと思いました。司会の方より今回のお話を普段の公民館活動に結びつけて頑張ってくださいと言われ、どうすればいいかしばらく考えた結果、初心に戻って活動していかなければならないというお話をしてくださったのだと思いました。

・第 63 回奈良県公民館大会

平成 27 年 9 月 4 日(金)

委員 第3分科会 「地域ぐるみで子どもを育てる体制づくり」

私は子どもたちの学校の行事や放課後の事業に興味があったのでこちらの分科会に参加しました。西ノ岡中学という向日市にある中学校の話で、一番感心したのは、子どもたちが中学校を卒業して終わりではなく、卒業した後、生徒たちが大学に入ったときに、自分たちの母校にティーチャーとして先生と一緒にボランティアを行うということです。大学生が先生になって、卒業した学校の子どもたちに勉強を教える。これはすごくいいことだと思いました。地域の活性化にもなり、子どもたちが自分たちの卒業した学校や地域に根差した素晴らしい取組だと思います。その他、読み聞かせや本の貸し出し。図書館の本を貸すだけでなく、音楽をきかせたり、読み聞かせをしたり、いろいろ考えて、環境の整備も、花壇の整備なども子どもたちと一緒にするそうです。学校そのものが子どもたちと密接にかかわっていると思いました。子どもたちが学校卒業後も大学生として、社会人としても勉強に参加して、中学校とか高校とかのその地域にしっかり根ざしてやっています。授業も大学ボランティアも子どもたちの家庭に大学生が直接伺って、こういうことをします、と保護者に話をしているそうです。コーディネーターと学校との打合せにも先生も交えて参加しています。卒業式、始業式には大学生による参加生徒への呼びかけなど、いつも大学生と子どもがしっかりつながっていると感じました。西ノ岡中学校のボランティアティーチャーは参考になるのではないかと思います。

会長 本大会には大場委員にも参加いただいておりますが、補足等ございましたら、一言お願いします。

委員 第1分科会 「歴史・伝統・文化の継承から生まれる人と地域」
～若い世代が将来どんなまちにしたいのかを、今みんなの手で創る～

こういった公民館の大会に出るたびに参考になると思っております。今回も奈良県の100年会館で行われましたが、私が住んでいる町と同じような状況があるのかと思い出席したのですが、そのような取り組みをされており、私たちも朱雀自治連合会の30周年記念事業を昨年やりましたが、そういったところで、記念式典その他いろいろと行いましたが、確かに非常に参考になったと思います。詳細については書いてありますので見ていただければと思います。

【案件5】公民館大会について

事務局 第 38 回全国公民館研究集会兼第 64 回近畿公民館大会、第 64 回奈良県

公民館大会について詳細を説明。出席者は下記のとおり。

■全国公民館研究集会

兼近畿公民館大会 和歌山市 11/10～11 未定

■奈良県公民館大会

橿原市 9/2 伏浦委員

【案件6】公民館利用者アンケートについて

事務局

現在公民館を利用している登録団体に対してアンケート調査を実施し、結果を集約したもので、回答いただいた件数は 783 団体となります。公民館が、より多くの方々の「まなびの場」「ふれあいの場」として活用いただけるよう、市民のニーズを把握し、より使いやすい公民館にすることを目的に、このアンケート調査を実施いたしました。

公民館の使い方として着目した点は、2点ございまして一つ目は「公民館の申込みの受付期間や方法」、二つ目は「使用区分について」です。

現在、公民館では、「使用日の4週間前から前日まで」が受付期間となっておりますが、1番で、これについて、どのように感じているか、2番では、1番で【もう少し前から受付をしてほしい】と解答した団体に、どれくらい前から申込みが出来るか尋ねました。

3番では、使用区分について、5番では、公民館の使用時間を、8番では公民館の申込み方法について尋ねました。

このアンケートの実施によって、公民館の利用団体が、現在どのような考えを持ちながら活動されているのかを知ることが出来たと考えております。特に、5週目がある月の申込みについては多くのご意見があり、このことを踏まえ、指定管理者である生涯学習財団とともに、より使いやすい公民館となるよう検討を重ねていきたいと考えております。

会長

公民館をより使いやすくするために利用者アンケートを実施されたこと、また、その結果について報告いただきました。日頃、公民館を活用されている方がほとんどだと思いますが、普段感じておられることや、改善してほしい点など、何かご意見等があればお願いします。

委員

自活協としてお願いがあります。毎週利用している場合、4週間という言葉上で4週間前ですが、実際には1週間前ごとに申込みをしなければ使えないということになります。無理かもしれませんが、朱雀のふれあい会館のように、1年間の教室申込みを行い前金を払う。そして、何かあれば譲るという方法にすれば受付も楽ですし、収入の面でも確実に入ってきます。そのあたりを館長に聞

きますと、現金の関係で大変だとおっしゃっておりますが、運営上だけでもうまくやっていたらありがたいです。

委員

中部公民館を利用させていただいておりますが、5週ある場合は1ヶ月に3回講習があるとすると、1ヶ月間予約できるとありがたいのですが、その第3週目に使われないときでもその時に次の月の申込みをしにこななければなりません。4回までは許されるのですが、なぜ1ヶ月にならなかったのかと思います。

事務局

申込み方法のことで、1年間の申込みについては、金額的にも大きくなる点と1年先まで予定が決まっていない団体もあるため、なかなか難しいところがございます。今現在は4週前に申込みであるが、週1の活動であれば毎週おさえなければなりません。他の施設では月初めに1ヵ月分おさえることができることあるので、アンケート結果を踏まえて、そのあたりも含めて考えたいと思います。また、公民館を利用されていない方々の意見等もいただきたいと思います。それにつきましては市民意識調査の中で調査できればと調整しておりますので、併せて検討させていただきます。

委員

私は北の福祉センターを利用していますが、北は月初めに、その月の利用者が集まって、譲りあって決めています。毎週決まった日が欲しい方は最初の月にとれます。お互いに譲り合うこともできますし、スケジュールが2ヶ月前にわかるので一番やりやすいと思います。毎週行くのは大変ですから。

会長

可能な限り現在使っている方も使いやすく、また、不特定多数の方が、公民館を使いたいときにどこも公民館が空いていない状況もあると思いますので、貸館としてどこか一箇所は不特定多数の方がいつなんどき申込みをされても利用できるような場所を確保しておれば、1ヶ月間なり、全てを月初めに決めさせていただいても支障なく過ごせるのではないかと思います。これは使用している立場で申し上げておりますが、そのあたりも踏まえて検討していただきたいと思います。

事務局

検討させていただきます。

【案件7】その他

会長

その他ご意見ご要望等ございませんか。事務局からもございませんか。

事務局

「平成28年度 人権パートナー養成講座の募集要項等」について、奈良人権部落開放研究所より県の人権・地域教育課を通じて周知依頼がありました。もし、お時間がございましたら、直接お申込みいただき受講いただけたらと思います。

もう一点、大場委員より冊子「かがやき」を提供いただきましたのでご覧ください。

会長

平成 28 年度第 1 回奈良市公民館運営審議会を終わらせていただきます。

資 料

会議次第

委員名簿

平成 28 年度公民館要覧及びその他事業資料

平成 27 年度公民館大会の報告資料

平成 28 年度公民館大会の資料

公民館利用者アンケート結果

平成 28 年度 人権パートナー養成講座の募集要項